令息の計等により飛神的問題的 たのであるが風邪にかりつてをり

人したり職配那條は置ちに國境職一六七百米の地脈にありトテカ(小

泊、四月一日午後三時上京する一後二時五十分入城、御成底部に

もつて、保証要求の白胨協議の選一五、我部隊は廿五日変九時間一部

唇形気を國境線附近に接置して、 約二里の二選両子に集結、待職し 監視に任ぜしめ。 ギ刀はその後方

額から過費所に教士百萬国の申込和十一年度談勘資金は延嗣各会融 を受けてあるので、 總督府では来

耕資金の査定 在澕朝鮮人農

備中、境域を受けて兵力和百五十

七日午後二時發表】歌地に野道せしが、これをみて優い朝鮮軍司令部二月十一般せりこの影響は間日午後一度別

め限に病勢が慕つたのである、そ も少からす疲労を感じたのと或局

れ以来就登を重ねてわたにも拘ら

こう続八十名のフ殿監査職は不法に機難しつら変充後方に退却せり めたよつで我際戯は止むなくこれ

製田式の製作された三月九日には、愛十日の第一回翻製「東京市盃」川高商相は第田内翻「墨内」製缶式に列し

から風邪靜養

親任式の直後

五分途に逝去した、享年六十六【東京電話】風邪靜養中の川崎商相は肺炎を起し廿七日午後零時五十

午後零時五十五分

トン二十六日電池] アメ

め各相のこの非常時間に刺駆する

爾、原田首居以下(川縣商馬經歷)

体戦要求を無視

いあくまで挑戦

長嶺子日蘇衝突事件詳報

「東京記話」二十七日の定例語が

アメリカとしては大半洋防偏制 一大学のする場合はアメリカとしては大半洋防偏制 にた昨年の報告はより 会議の義題より分 でから背し日本が前海北岸が 野山大学である。 映 金石がら岩し日本が前海は日本が新海は一大学である。

中は木然にこれを防止 て治を貧

り、安野業素の歴政は月と共に立関の基礎は日に月に蒙屈とななる皇帝陛下御総治の下に王道

説明して右交渉を拒絶した。 右に

武にワシントン係約第上三條(太

の話合いも行はれたことがない。一ては真贋の説明を懸けた **随郷につき日米州関間に本だ何等。職する方針であるといよ説についる学してあない』と答明し「巴郎」のみこの問題に帰する日米交渉に** ヴィス
野児代表から何事の報告に「帰軍補協定に追加参加する場合に

地方長官師任

の非常勝物活動により液質型語と

時局の重大を體得

る極左分子の空頭を厳重や視し更 協調多語之不能

業は巻きその緒につき英則仁慈一級達の過程を見て國内含般の事の間同國は史上稲に見る健質な

サ六日電池 | 睡雨する | 脚する男、米交渉について米だデーと述べた、前して日本が英、米、

英の交渉、米國拒絕言明

日本の脱退で消滅

公平洋防備制限は

戦暦の方針は最後節染定を見るに至らず、太平洋師層郡級について北部で登げてあると解される、但し今までのところ感来開窗とがにいては寒光風層戦暦の歌南を驟騰、且下外変勝鵬を担めが来については寒光風層戦暦の歌南を驟騰、且下外変勝闘を担

ては帝國政府は未だ何等の保障を確保してゐないと解される

する係項が掲げられてあないが、目下帝国政府においては同條項

ン様的第四編潜水艦使用細限候項を存録することにつ

層水艦使用制限條項

續形式で英と折衝

太平洋防備制限條項でも意向を打診

滕井大使、英外務省訪問

任文郎大臣秘書官(II等) 岩井

文相秘書官更迭

に報告しついで海内相よりニー大 |強田自君、呉雄な田、寺内陸相

際先本官遊覧官 (各連) 縣生際大郎

渡遷 世祖 字野 哲人

法敬益

審作

(77)

吉町太郎一

告めら各道の情况をそれから会から各道の情况をそれから

九州帝國大學教授 雅山 方法の再機はを行い、昭和十一

底に脚する機酸を行い午後四時時

んであた後に、住題と安津房がかっ。それには、後女たちの思望を

反省の数を持

に取ってもで

ほひで濡れてゐた。既る堂守が住

一桁家である。 脚や声は打ちてあめったに開けた事もないやうな

火を持ち合ってゐるのだ。もしそいのだ。そして極めて危ない火と

被を越えたが

かないのであ

村振興強化

の歌にもふれずに居られよう

法勝善へ翻つた。そして、取めて

嘘だ

***局で、顯微鏡で比べてもらつて下さい。と思つたら、外國品とでも、 どれとでも

ピリオ新登賞份白粉(

「ことならば、難くの間は、世間」「では、関目にも」

けふ本府に開

・田城が郷部を委員長とする總一番間の領サ七回器市長興島

钢鲜總質所沒遊局技師 钢等總質所沒脚 權并 增洽 幹總質的技師 (二等)

東道小作官級物檢資所技師 頻擊總價府技師來仍資局技師

經報高等官二等(各通) 院報高等官二等(各通)

へる方針と解される、一方新鉄約においては太平洋防備翻線に難した、開催項存額の形式については苗崎政府においても無考を加した、開催項存額の形式については苗崎政府においても無考を加した。開光代理大使は武波四十五分の後十一時半外務省を鮮去済全病。

が非常時間で表のたの政府常局

第一高等學校教養

融合和樂を基礎に

動いな常様で更に軍民一致し

形を飾めてそれと、帯低した背景 で最大時局打開のたの第カする狭

に、たり選がながれてならなかつ

安雅間は、鈴虫の馬服を。

ひとりつろ

於第一

部清酒品評會

部氏の死に、

譽名の續連々年 禮 御 賞 入

仁

111

社會式株造釀日

なつたが一度は台閣に死し戦闘

橋に昨年間田内閣の手で動選

歴文書になった平生者と

滿第一步 植田軍司令官聲明

體を強化せん

みますに、日本笛戲の

この削録器に覆れ、また

越地方臓薬上り廿六日入域内腹離並氏(頻鮮電力祉長)爆糖競逊任 実年や、胴切や、絹のものや音感になかつた。

る御醴块夢に廿七月本紅米游 も、こ、にある咸賀こそ人間の生」かも、俎摺いて、本京延氏(岡上支配人)同上 腑や、こういる光郎素の生 ぶより 正純してあるにた 同上 はまだ自分巡の襲びが、俗の艦に一ては。――それをも孫はしいほど

別小は程道、「自省自成」して 天地支黃

ハアそれはもう新聞で度々野見

次の目から、業を拾つて、疎しい さら云つて、夏女たちはもう、

の大義様がというではありり

小定家がステキに戦比い大作作を置く節者!常じ自戦争乱といよので日本一説の大変化粧

臨時倫下!

を物質も万融●

錢十六價特仕奉大

時行つても、

(0.4

々と、脱し泣 なかつた。し 形のすがたを た。安安房

画的

すがたを見

冨

べてあた。

こへ彼女たわの不見な割を重んで は、変えん

服をつけてゐた器がある。 船を初め、あら で語の行動を知了ると、何時と

につて、狩犬の 豐富なお湯 Miles 海と山の眺め

短において、そ Tato等版」が開発しませた。 ステキな大器域が四種つき !いさ下覧御で店書

最業に十〇島東加〇湖南市東京田日 第一条 1000 日本 1000 日本

(HIHER)

海雲台溫泉

(釜山郊外)

酱

賞 杯 受優等賞入賞 賞

賞等優 於第二回朝鮮中部清酒品評會

受

領 標商錄登

深 見釀造 塲

仁川

化門通り返信局開始保護局長で

【『中央変も】 甘む日午明八時廿分 |四名の容疑者を強へて取器べ中

を狙ふ躍盗 市場歸へり お不浄から汲み上ぐ

光化門の橋の下に

土木人夫ら

が終見す

が田崎の中を川分屯端」で揃べる。れた通り、四月一日から歌歌する合せた西大門警邏合駐在所決定が、各舗里は甘四日道常局から認改さ 無!」を連続。誰も居ない、通り、書は戦たる層内の各調や新島城の つて、地げた、妹さん「真然」泥「府勢擴張による大京城の出地で、

るが、何風射立の住民は早くから **拠乏 面新学出は 个度新学町 とた**

名に對して不誦の聲が起つた――

時代の古事に因んだ「舞り」を削

人三郷制町と稱し、町名以籍に當

住民から改名の陳情

と住所不定金賽瓦(Po)で由日廊り。ことになつたが、早く

學童や學生たち

天下崎れ

フトから三個甘銭入りの財布を禁

は道層景部に瞬節の掘道を含む

赤ん坊の死體

平壌でも發見

他致か、外産が開明しない、同者一般融と共に犯人を捜査する事にな

要求も美しく変の信子さん(単)は長女幸子(人))「女光子(さん(『一般名』が甘六日午後三梅頃強宅してみると八墓の間に死 【大印版語】 病例な我母をはかなみ四人の変し子を道理れに死を選

○四女婦女(ご)=いづれも服名=と母子五人が使を聴べて死ん

病弱の母に同情した長女

迎日郡の内地人果樹園主宅の悲劇

御殿の総将一千二百四上四を翻籤。アドルソ座ド、エリサベス・シャ

張敬務善例七七、李遠元(ご)は

横領し捕はる

いて融動機に放棄を生じ墜落、

明言、車業城近報告、昭和十 後四時より京城ホテルで即海船を 及服院館園鮮支那では二十七日午

部理事會

確にも人相が賠償してゐるので追

| ド・デ・アヴィシオン(メギシ||日間盟] コンパニアル・メヒカ

至職資配)肝原成管機は二十六日

細面で一山の市日齢りを襲つた強

節形参敷、なは昨年十二月

報消したこと物明、廿六日本町署 昨年八月以來今日まで保險網や支

ウンブルキッベ蛇ジーゲムンド・ を遂げた、右京客中には場所の期

加田刑事に検索された

新堂町~はいやた

毎用の表験を嫌んだものと問題した、原因は表の哲子さんが病は勝

常にこのことを領に病んでゐたが、肚に精御

もの高家庭が暗く、

旅路へ急いだもので、懸された文力郎氏は圧はんばかりに或さ悲 た長女の孝子さんが共に死ぬことに問意、妹童にも言を含めて死の

高松宮殿下にもお茶の會

御総心であらせられる高松

フタ大館開催候補地配祭 賜はり 天機を帯倒して我 おいて、天皇陛下に謁見を 件、宮城に参内、原鳳間に

劉して湯見仰付けられ 十七月年前十一時自己

死 装束

北

伯は非常に感激 何オンリビック日本招致に 回来朝の御袋器を書上した 時過ぎ退下した と胡椒手を賜はつたので 唯下上りは隆健なる御音集 皇宅に敬意を表し奉り、今

職協外交話、オリンピックがにアインランド公使天法 十五分芝島輪の細殿に同由 たど二十数名をお茶の面 **把女委員會々長衙川家**遊公 宮同妃南殿下には午後四時

城入軍球卓生學

即ではすぐ子未亡人、長男蔵一君。た花度、花楠に盛暖の程が思ばれ 無鬼で陸承難を令に依り盛入に尊、下腸の揺が供へられる田首相以下、伏矢は三海の形態を養怨して退塩を取太郎大権の葬締は、廿七日青山、宮殿下を 初め、 各御墓をより 御」きな十萬」の哀悼の曲を会國に従 行された。午前十一時狹獨の磁邊。各觀瞭その他關係者より供へられ、解確は同三時過ぎ終了した。

故渡邊大將の

到め過度、規胞などの焼香あり出。 る午後一時半禁能は明始せられ帰 盛大なる葬儀

青山齋塲で行はる

Strateの製造は、廿七日青山 宮豊子を 初め、各部営家より 御ご立子語』の意域の曲を合図に従たつて卒去した即教育總監修邊 畑 繁煌の 正面 には ዲくも 秩文 時四十分ラフバ手の吹歌する『吹 【東京電話】二・二六事件の機性、自邸を終し武皇に向つた、青山倉、て館野湾の慰査とれに館を午餐工

桃屋の花らっきょう

100號 ¥ 30.08 150號 ¥ 50.00 250號 ¥ 60.00 163號 ¥ 75.60

格式を壁行、午後帯時廿分藁枢は「隊長田中久一大佐の指揮せる佐仗

の旅客機墜落

前ドイッ皇帝の甥夫妻其の

十四人の

死者出

'n 儿 才

/ 型 Y500.00 Y580.00 Y650.00

超200(2)范 店

削製鑑松書田省

ラド田有

4號 300壁 5號

窓代 丸特別出資

DB-

N'-

四、題口信銘、第三點、 命一題、 爾谷蘇一、 金本一選、 命 · 高天郎、早瀬武美、崔在 憲天郎、早瀬武美、崔在 憲天郎、吳瀬武美、崔在 竹本發、杉本逝、中西

マヨネーズ

Y 85.00 Y 95.00 Y 110.00 Y 145.00

器樂本釘町漸城

コレイヘイタ

グランド型 6壁 ¥145.00 103壁 ¥75.00 15壁15,000 450壁(新)¥80.00

郎一本播 丸代喜 瞬

たが、新常町と決定したのに番入れ京城層に興入れを待つ

御家庭の

金剛能 内地みやげに

ぜひどうぞ 甘五日夜も里漕を開いて職り

皮膚泌尿花柳病

はい書

梅霉藥 別八円 特六四

数の取れな人

面與應甲東子商宋蔡容司

帰議の結果、是非郷邸町に變更

隆學的上波邊晋 京城黃金町入口 日本生命裏

トリプ運動用



時計破額青り一番任保證付金を

特價 貳 拾 繆 圓 也特價 貳 拾 四 圓 也

限り特價提供致します此の機會に是非!

丁目

H 百

京城本町 目 丰店

標準時計 Ø 村 木 京 城 本 町 二

华

代表電話(2) 二計 essed. =; 部店

時間は へあれば!

御注文は代引にて御送州可申候

北日十後十一度を 錧



きのよ全鮮動

た宗面さん(**)が、保護戦で立義。歴史部の副に墨南を築いて大震寺。ヒロプログラム、世九日からはフー・プロ分談は世八日年後一時から不出、一日午後、時から同様保険で、在、世八日年後、時からの「とやん響い やん遂は八時過ぎから、ったん』と共に過した、廿八日4(分成が出来、淡金剛・丁目は甘一日は、

時半からとひらのに合う会わた切

せる京城県及映過館の第一回映版

豆塊敷能脱に投げかけられた蓋し。まりの顔で崩退になった、上映す

府民館に廿七日から始まる

學電生徒に震要映画を観 るものも デンブルしゃんおめで

館が甘七日から始まつた。午朗れ、他認識など移ばれるプログラムで、脳内に分詞を作りつくあるが、今

たう」「むつ」り右門捕物站」其。愛國聖人靈理解本部では目下京城

愛婦の二分會

京城神社を約ら延長于二百米級

について嶽巌を行つた。その歴上 平度の決原及十一年度の像原編版 ホテルに許謹俊爾を聞き昭和十 即和官奉教館では十六日上午朝

年度に於ける新規事業に

みんな助かな四半日を『テンプル』四黄金町三丁目及び九町二丁目に

とになり、交二英国を投

人學試驗合格

米た男が知道面の田崎の中で世間しれた今島の都に関しさらな二十あるな(忠純は第一日の問題)

九時にはきしもの歴氏節も取を配

ログラムを立直して財一日迄前け

千四百輛が線路を埋め

學童學生たち映画會(京場開業)

英二千回を突破すること二千條田

が對策を踏じつるるつたを

り盛んとなりこと数日は使用貨車 夏に九萬五千八十五風の数字を示 が関け、政界の番目さと共に出題 干型日に置する日記を容置してる 今月の下旬に入り冬町一般人も電米の記録一日間のは高九一 廿六日一日に九萬五千八十五圓の收入

信用重韻

(共度運)

2留所斜向)

御祝にぜひ!!!

衣笠産婦

科皮

<u>----</u> 電本2 5 9 12

と生後にヶ月位の男児がはき壁がするので家人が

全般天氣豫報28

第一年 北東乃至 北東乃至 北東乃至 大勝はは登るには、 東京の東京には登れる。 東京の東京には登れる。 東京には登れる。 東京には登れる。 東京には登れる。 東京には登れる。 東京には登れる。 東京には登れる。

さらに擴張して立派に

部江原西の風 北南の海の西

廿七日の概況 集徒卿

備完用作所 ^{用布散ルートクエフンシデ} 用洗手水 ルー ゾ レ ク

阳新縣

や門耳り間に 心番 馬里 1

軽へ高木へ

次長を物、由具類 次長・人・調合率各種組 大型トランク新型電行器

へすり、手提、

のり天津は晒れてるま









電気起債の整理

突き込まれて手落ちお詫び

場誘致策で⇒押し問答

日午後一時二十分開館、致らしく 意識品質については大した質問な 起道が振興で取破本年医支出額に日午後一時二十分開館、致らしく 意識品質については大した質問な 起道が振興で取破本年医支出額には、1年の またから またのか またから きのふは初めから過半數の顔揃ふ

| 1 日本 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1

散録、邑理事者は島壁つて跡段側 要求を容れて同四十分、高活動に 事為は狼狽し機對諸長は諸姓側の の原見を書館し豫原案の形成計に 入り、午後二時学に及び其のまく

下城 维"(安州) 津田岩保 (鐵南船) 卒(平型) 鎮海浦泥動粉シ 中職者動務を 安州署動拐を

職衙署動務を命ず 平壌潜動器を命ず

変の憲憲に入つたが市用、立 i 明 除く全議戦出歴型に十一年度復募 助十時十五分明智、憲版利吉氏を

【清掃】色露二日目の廿六日は午

審議を中止

清州邑會 豫算杜撰で

沈滯の平南

警察界明朗化

幹部級廿九名の

大異動を斷行す

同保安課動務を命ず 単語動物を 日 森山庫之面(道部) 张上明 (蘇南部) 这一(中間) 館(同) 功(道部)

他本、西木、品川、香

平進署與稅之命才 平原者前務を命ず 東 第 2000年 原川岩和初を 西(近山)

削強医を十二年度に廻したのはと強ふのはどうしたことが、霧と端と値所が昨年決めたところ

昌(平原)

中國者頭份を 田浦・殿明(徳川)

文作 (資部) 正(同)

華麗語・近石宮代太郎(中印)

雅寺(成門) 友一(流形)

て織田の部を終り織入經常部の質

田中弘武連列書から別金を取るた て置し池本・内山和森良は特別で、関本和北京は全球が、東京の東地大公平を難し実施の東地大公平を難し実施を指使用列、青本和北京は全球を指する。 ら早く踏る潜からも取るやら緊急

完

州

郡

豫算委員會の掉尾の議論

やつと審議を終る

意見を誤くに寧る梅で公費支幣活筋組の型流取集めは各方面の活取集めは各方面の

人

永

鵩

及語 来、高麗趣業主任より登頭を選(と同う達別としたことが高麗、集の間に理して出版資金、 を通りなど、大きでは、「一般の大きな人」という。 「一般の文元のを持つしてが、 「一般の文元のを中心の講 」と、「一般の文元のを中心の講 」と、「一般の文元のを一般の情報等とされる。」 「一般の文元のを一般の情報等となれる。」 「一般の文元のを一般の表している。」 「一般の文元のを一般の表している。」 「一般の文元のを一般の表している。」 「一般の文元のを一般の表している。」 「一般の本ので、「一般の一般の表して、正独の外のでについ、「工程所注と」 「一般の子立、「一般の事で、」と、「一般の主、「一般の事で、」、「一般の主、「一般の事で、」、「一般の主、「一般の事で、」、「一般の主、「一般の事で、」、「一般の主、「一般の事で、」、「一般の主、「一般の事で、」、「一般 然写記保安照動がな命ず

金也響字

全

州

商

I

會

議

所

平康遠鄰地如《陽》記針中太郎 保安課問 (独旦三文 武天 安 城間 (建國)出田 辰男 迎 川間 (寒鄉)能與每大郎 迎 川間 (寒鄉)能與每大郎 迎 開閉 (金城)相方 晉二 高 城間 (新珍)社 惠 语 同 (新珍)社 惠 语

由で辞代し後代委員長 路前後壁即形な波事で一般的は廿五日の姿践的 西原委員長が腐気の理 での経出所門の探察委

町、釜山蔵、牧の器、草葉、水瓜町 釜山蔵子市基議豊地に第平町、本本

型を一折して前後、体型三帰門し

大新町、巡州町の各断沿小野市県

青年訓練所、住宅、職業級、断、

域で不成立となり、ついて公司量

た要量層は出川流域、安員長階に **一覧七宗で山川氏常進したので甘** とになり山州定派成八泉松岡 會敬育致の內容期可、器官及語 ボ、底閣職業上任より說明訟遇は金血供原限。正應導業費中の証 騰謝斌産業小職党の內容認明を受り後 備設を可決して社的職業役を上産 分再開、創意市場員、沿岸機械散

■推仁察議員 脳震館選記二名級

■で新潟の公煮を産売せたのたが、 本たる電系問題の繋むに繋れる可 本十高が手 更形景を変換と図書 かっため窓記二名項配 かっため窓記二名項配

と述べ其他各数項盟目とも交々論、長内務席長端點館職理その他の點 は平落ってある。館に選起が多くとも従山に於いる本間語を等る他田議員。他都市に於ける副語

職を難し最後に崔韶紫帝長上り歯・を詳細に説明し五分間体就二時四 とたが、これは甘七日歳人を資金一つかくり上野内の趣味とり原窓通 十分活品、山地を開書編制度が旧 時頃川巻親長修正義の可否を建立「壁に對する質問服が行はれ開墾日」とみ希望するため職場に解へこの「瓦斯・胎難含敗薬等當画の重要制造を希望するため職場に解へこの「瓦斯・胎難含敗薬等當画の重要制

堅水閉ざす豆満江

逆立して

熱血漢林議員の茶目振り

頭へるものと傾じて

消酪 (食易) 坂本 利男

(經濟) 相木崎七成

村田稲太郎

全

1

車

1111 | 1111 | 横目動車はボロで直端はかりして 岩面でありたいと言へ田鹿と衛・屋頭を辿った。 十五分明徳、前日に、北川崎寺に、「かんがん」、「『『『大学』に、「では、「十五分明徳、前日に、北川崎寺」に、「『『大学』に、「『大学』には、「一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 【大田) 街館五月目 来の築態味をみせた。光づ立木罐 間に開報して林戸段道路製地質収 めるがどうしてかくる中古典を脚▲小野英男様以 調まらされた府

り起く新り入の北谷町は北部市で半年は野現け困難な就随である。 入するのか、確の土木行戦はたと あり中 必要な認め群盟の都合であり、その土木行戦はたと あり中 からない かっぱい しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう

同じく養備説の問題を提げて肝学 いで大場が設断の台政策と市町

にやって行上り外距型の職僚で仕

と明か、簡単金を襲するとは思つ ※正な答録でない、かの人口部 ◆……ところがすテ製鑑練的にな をする意山町より南山町に至る なないか、一部火災でも起ったとあつて整部守さんは母よる○の ら自頼車がはいれぬのだから妖 趣

全

羅

T

道

±はなんほとつても皆小さくて

900

全

M

實 支 局

M -臞

全

會

地下水温度の結果如

|神殿事業中の野湾場、全部衛行所 | 載させては大きが成から前と電男線部して理事者の注意を喚起し、 れたい』と組るなど前場を版はし

助党に関する修正動施提出を提出

題片、飛行場、水道 入するのか、層の土木行戦はたい り起く斬り込めば府邦は高面で詳

の内容について質し速水番外管へ きこのことは別路で飛扱した 本府で関軍器議中だから

んな心配はこの際に無用とつき 幅の僧を道路部に置いてゐる。

◆····· 【大郎】 お言

融機主選で各方面を さん、隠北着伝草々 ピクつかせたが常の

様を着てあることをのはなんでも、要は心にきるのはなんでもいる。

とスツカリ政宗とございで一節な

「東方の原本権四」五尺位の元本管」と解する配正したが二十日来の「変換五十万至三日本位勝太してを「繋ぎは水上を延迟、自動卵位立院」各議費いづれるので表っ、「東京の変きをみたので表」「京岬山田工に職」米万三五米、「東自野戦の水上運転を設止され、となっ、小野の変数立では二十日東から近の間・十八日に大量の変きをみたので表」「京岬山田工に職」米万三五米、「東自野戦の水上運転を設止され、と答べ、小野の変数立では二十日東から影響と「東書館の変」「東書館の変」「東書館の変」「東書館の変」「東書館の変」「東書館の変」「東書館の変」「東書館の変」「東書館の変」「東書館の変」「東書館の変」「東書館の変」「東書館の変」「東書館の変」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の変」「東書館の変」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」」「東書館の表」」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」」「本書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」「東書館の表」」「東書館の表」「ままりまする」「ままります」「東書館」「ままりまする」「東書館」「ままりまする」「ままりまする」「

55、夜周の夜夢は危極にな「気温上鼻で臓霊解本を早め、クス」り、夜間の水上で近は危峻である。 から折返し地域中の解水観四、五尺位の液水管 しく解本を配止したが二十日来の 悪長五十万玉二日本に帰水してを 家宮は水上を佐御・

日間戒署等内莫山から監察形江に「面の野水を見るべく」なほ下流と

[金書] 豆蔵江の解水は去る十五、り、且下の試験では今月中には全| 月本までに全面節に滞水するもの なに医療大選挙説揚腔正は、後間

とみられてゐる。目下の幽閣隊及

れ諸耶の運行が危険なのである二年の正事のために水上に増水が高

慶琿間自動車運轉禁止

夜間の水上渡渉は危險

道立平型管院勤務を命す 道丁學院登記 (衛門語) 信式(平響)

養養部高等養素課酬務を命ず

地田東一郎 (四巻)

一首美しながら起って充分を除す。

職者を迫られても困るといへば様 で、御願ひしてゐるのではない「迫る」とは何事だ、液を吞ん

と思ってからり、野浜あつさりが

全 州 郵 便

敬

察

道 食 堂 Ħ 同

全

羅

北

局



株式會社

大師能しかつた名も終りになり 一気 候 に思まれすぎかれてゐる婦人類照整など、父、

う終つたと感。少うございませう。この質素な識 では、こんなに感謝と、もつるにあるが層域となつ がこもりがも、意みを生態時に別賞に感する事も、協議し別首したものが層域となつ では、こんなに感謝と、もつるにあるが層域となっ を持ってある。

(やうな。当分のようこびを照する こざいます。入理論、翡羅蝦、こ そめて思ばなければならないのではこう、こんなに、用けてめてゆ 許さない色々な明道した事がらが を、輸入ことに拒認はよく心をひせった。 しかし他方には、こんな暫長を 何を存眠しなければならないか。 幅日のために

のはほんとに、いとおもひます。

つてをります。何によつてかくあ

るかという生活を通しての希望は 山盛び、恐るべきものを避けられ

では異びであつても、なほその語。ます。からい小風に考へて語りま

幸一幅 なん脚はきし

も左甲状のある生活をおくるまた ないようとわかってうに思いて起

すと私共、また母親は人生からい

◆ 分寸す食肉質 四月二日(木) 関り金銭を監索し、この山着に ・ 一段一時から豆城電犬門通り音 過宅を築きて子綴の部が出に ・ 内内管調ミクニアベート内門台 武士にあるまじま鑑賞が同、響人 西子記憶を附の事 は宅を乗きて子綴の部が出に ・ 当にあるまじま鑑賞が同、響人

高人にとつて同じ理想でございま

5

Bすまでもなく各人の能力は一部 でございます

イロンをかけ、父風を通して、い。び簡虫類としては『アメーバ』 『一心かを診師に就き競姫で簡め載つ

サコデスナ

ヘウタンホックリ

母親の立場にある喜び

この感調の心をどう表現する

よつて産業の帯によるのは、その人に、みの希望といふものは、その人に、るを語といるものは、その人に、る

であるべきものと思ひます。

このどんな出來事も何らかの形で感じてゐるものでございますし、 批論ののと

の人、たと一家族のみがわが家庭ではこの窓路をどんな形で表すべ

一歩も謎ること相ばられ、能く考 あつて斯る龍鷹を日中戦らして歩

の語にのみに守つてゐるとしまし てをります。しかしそれを只一人

も家人も、社館の一部分を支へて

が、それを断止する手数はわかつ

紡骸は避ろしい痛気であります

証拠の

お題を大われて

の次第でござる。さ、どうぞ其所 知られども、ことは天下の往来。

行手をお据ぎなされては迷惑干萬

た。此時内験助は、

Tこれは く如何なる 電話あるか

を戦し居らる」か、その仔細を基

らう、如何に内殻助形

この規能の組織に属る以上、その一んが、その日々を暮してゐる家庭。 解人とは間じではありませんが、一でなく境遇も一様ではございませ

る。といふ事はあまりわかりすぎ、帯道任でございます。 といふ事はあまりわかりすぎ、帯道任でございます

ほそのとますが、どうしたなら

言しば しきものを漂 れは此酸を優の母親の資よ資低で

んである母親があるとすれば、そ

一つの社會的事情によって悲し

の気にのみいかに可質な祈願を持 たら、どういふ結果になるでせる、

ばならない所以でございます 使命というものと眞面目に考へね 考へる事は、婦人の戦略、母親のをどんなに使用すべきであるかと きか、この、あつけられてゐる問 るといふ感謝をする愛えられます 立場。四面がれてる

学覧にて切腹なし、従みを干載の 天下の諸侯ともあるべき身が他の

る人非人め、思い知れつ』

殿は晋良上野のために患げられ、 へられよ、足下の主岩技野内匠頭

下に呑んで逝かれたではないか、

假り金銭を配當なし、この山科に それをも質疑は忘れ果て、藁城と か。わが家庭のみのためわが愛す

あつて、その事が他の此のところ

の私事の警覧に止るものでござい

摩藤だより

な場所で止つてゐれば、一小部分 つてるても、その歌劇がその小さ 友の家建設に當り(上)族の鰡立岩節子

のこる眼なく武き間め、風通しの を入れます。一日位風を通すとよ 際で聞く探り、それで洋浪全體を

その上に丁寧に形をくづされて も配換が多いので即ち脱싎動物及 で損女の寄生蟲が果して何んであ

今度は手拭を熱

以はベンギンや神経山で からして汚煙をずつかり拭き取

と、大抵の汚點は落ちます、脂肪

水るだけよく似た布に浸して拭く

統上病院

見る肥大吸蟲等ありそしてこれが 御典、麒麟、羅蟲又よく支那人に ては有鉤條為、無鉤飛過、脳節製 エルコモナス』等あり候器以とし

イモクライ

ナガレテ

答に本田博士 膝の帯生動 福島法も各帯生趣によつて暴るの ますどうしたらなほるでせうかは毎日の標にいたく困つてをり バランチデウム」り「トリコモナ

ばれる腹の蟲 どうして退治るか

ス」、胸『メガストーマ』軽『ラ

あ

ココモタン

シチュウ

いて肥かがお出させて、あた町歌 原揮の粉などやほこりを掃除し、 る中らなところは挺がへしてよく ケットとか、隅々の盛になつてる にプラシをかけます。それからポ 時海いアンモニア水を、洋服と田 ゆるところを、形念にしらべて、 冊口とか、際、又は汚點のついて ンデンなり揮倒辿で拭ますこの

郷のやらの物で、ベターくよく叩 で、これは衣紋竿か何かに出して は、第一に歴状を可能に落すこと 力様な物が理想能ですが、単通の 中原を入れることは常端でござい 新しい新聞紙に包み、その中に別 ます、容器はなるべく外型の入ら

の確をつくります、さて外骛でも生地をいためてゐたり、忽も後年出むいためてゐたり、忽も後年

の粗雑な結果は今度 行き離いておきたい とでも手入れはよく ものです。しまひ方

時季です、毎年のこ

上述しないんです』と膨脹される。

を出さうと標準されてみます

も若々しく、遠暦にでもなったら句集

近作の句を見せながら「もう」

媒の街井の町の凍てとけて雪解風港はとみに色めきて

冬の外套を、そろ

coちよつと注意を怠るとoooooooooooo

まひませう

んさ女番萩生萱

申してゐます、別に流派は御座いませんが

な女史の『水明』に出された まあホトトギス派の流れでせる。長谷川か 近頃は長男もわたしに倣つてはじめると この生活(果佛殿)には粗懸はしいと思 しかし相手がなくとも一人で親しめる頃

一十年只伊か!へと老の寄 うお経さんさへあるお年だが、とての句が記す通り获香女さんは、も

間じとですが、おしまひになる時

ししまふのですが、なるべく

節前にしまる場合にも、この設も 生地を害めの上に 安全です

疑はしいので何れにしても一脚内 ぎゆう人へ鳴るとか腹症があるの

が断浴住場の高めであるかも少々

二重袋のやり方

又冬の洋服でも

ことなど勝身を吹く上に要殺です。る家をえらばなければ却つて生地でした上を遊戯の盗の中に入れる。いでせらが、これは鞍に信用のる洋風相におしまひなら、新明紙で、のクニーニング圏へ出せばよろし む前、やはらかい白い市の包めば、ますから、特にご注意が必要です なは可摩にするには、新聞紙に包をいためたり型を掛じたりしたし 所上の個みをかまはな時は、毎門は行ひたいものです。交かしの經

68

形はれます 型はれます ではれます 一般の下に汗が多く最近少 連作・シード・ア 「約」

腹下の分汗銀は銀許し難いよ。2次はロマシ側五・○音水若打を一の銀過を見ることがあります。 |巻] 瀬戸病院長、レメルチン五、○選號九〇、後四の服用がよく送喩配も一時能度好

地十十八世

費どの位置りますか Gradia - System は でもと せらかレントゲン放射では治療 のだホルマリン水及は搾阻腐でもせらかレントゲン放射では治療

必要があります、たも食事後腹がてそれに適應した騒蟲劑を服用の

のでは行みが鍵盤いませんが、五、六名で

層浦には女の方で脚句をなさる方が少い かなかとり見の確衣に審目なごや

明石 搞



り、魔を降り、よく廻りたる時手能の団身の水線を伯心にてよく去 早く水流して後布取にごよく水気

燒物(材料、鮭、橙、酢、(多)

を聞ち、メリケン粉をまいしフラ

節をかけて供します。

霊物 (材料、サワラ、以底、

「付け、蒸離に取りて蒸し揚ぐ(露)」生変して供します

日一門発布する

冷凍魚を用ひて 新鮮なお献立

れを器に盛り最あんをかけ天に計 答 四、外総道の拠記ある人に必い時 せんかと思ひますが頭脳明晰に りょめずる所あり去勢を 去勢するのは手崎は個戦です十日 →過酸化水薬はで清弱するがよい 數能に費用如何字術後の心理狀 去勢せん

水ます、壁するにそん事はやめた ね、手能後の心理状態は感情に激物に進わって大した事はありませ 間もあれば手術して全面しませら になります。心母共に老妻が早く し易くなり決闘力も触くなり膨病 青白い悩み

間に来て刈藻太夫を敵類となし、らず遊興に日を並り、或る時は誠

さて、大石内庭助は其後も相蛇 かつと面部に唾

大石遊興篇

地は俳句以外に一寸ありますまい

出来ましたら句質でも関したいと思うます

が湿く所謂青白き貧血関です、四類なり一貫して超身で韓に強力性のも数と、大で風飲なく酸減の起電水や酸大で風飲なく酸減の起電水や酸大で風飲なく酸減の起電水や酸大で風飲なく酸減の起電が、四類なり、 経質のタイプで自分も遺傳性神の男子です、阿規とも捜弾の神の男子です、阿規とも捜弾の神の男子です。 師に野菜、果實額を多く捕取一角も添加球が不足である由液極査に依れば遭遇の人より へ落器を致したこともあつた。

節三十五六の旗器とした武士が、

せらかい類になる方



何なるお考へあつて斯の如言院論

劉と申す着でござる、お手間は如 四顧助の行手へ大手を続げて立塞 | 子像の "計"も充分に出張て居れば え、世にある中より生きたる歌郷 計で贈くも汚らはしきことを値 「ナニ、老後の祭しみ、子歌の の害魔と戯れ思る。アハ、、、』 思い続すこともござらぬっそれゆ

拙音事は松平職郡守家來村上喜

居れば、程度人が態度つたところ ちゃ、確と前込音を扱りたい ど甲す器型人あつて吉良家を守り と、記して上杉家には干坂兵部な リと身を返いて、 べ居る、主仏の批討は何時なるの 「聞くもごろしい作品の歌話もの と語め語ると、デリギ

氣管ニュタル 一般起弱症

は眠くなるゆる即位候へ

と、大地へ版を祝として

"健"り 加瀬の 村上は 翻然と で経路の形、左原な能まらねお話 拍つて打兵び、同し旅宿に泊り台 際にて聞い居つた環境右門は手を でこの大武士め、君殿を忘却す 援延を内敷助の面上に吐きか 書の細胞最比響として重要を表している。 **咽喉の惡き人** .30 .50 1.00

| 本紙へて浮かれ歩くとは何事だ。 | れむつた音牌と苦美した。 | で上にあるまじき撮影成は、婦人 して見ればこの始末、イヤヘヤ呆 | れいったのみならず、 を使の思い出に せた配ぶに違る付上を使駆して試 全國各際店にあり

落付いた上品され テカくと光らず

品良る優に製ーリバ



悟道軒圓玉演 一彌畵

潮戸病院長

見るを持らはしき奴等ばかり、

を遊し、興に楽じて井簡量の天井一路と渡しくれん 通ひ、他目には南手に花と紫しみ一成らぬとあらば、属の武士が小の 戦る時は備木町の津縄大夫の許に「までも際収いたして膨たる返答が んうもは世所は退かねぞ、金然臨 さア内臓助院、共命の心底を同け 的を順ひ節蓋を飾り居る妖怪めら 大刀の柄に手を掛けて詰め寄り

からとして、超難らすが開来組を 大きとして、超難らすが開来組を 大きとして、超難らすが開来組を 大きとして、超難らすが開来組を 大きとして、超難らすが開来組を 大きないでは関係を選ばして、 でする。 然るに、時は九月の末、内藤助」た。動添ひの女は顔色鯉はり、

織に翻じ着衣。舶足袋を穿いた年・も早や初老を過ぎ、何時剛器陀探閣・開じ者な、立た時、經濟緒の羽・と河の南い湘帯は史え中す、拙書の田の観覧にかよつた時、經濟緒の羽・と河の南い湘帯は史え中す、拙書 の迎びがたらも知れれるそ

ひ給ふな

.50 .75 1.20

殿門、殿郎、四門 遊 たんせき一切 が網より來し 【酒應症】

たまと悠然として立去つたを、

各テベート、薬店、化粧品店にあり金 鶴香 水 株 式 會 社 製 品

Tancho

A A



学春白眉

佳境に入るラグビーリーグ

演藝睾丸

粒三百メ

16

菓子

町本城京 堂正萬澤米 六一〇四(本)龍

至ル雌族子店ニアリ 期間 至四月十五日 (五鐘・十録)

0 が福引曲 等等 運動; 腕卷クローム側時計腕卷金側時計 籤 景品付特賣 遠足二 編萬年筆 旅; 社会式株型リグ (変大・京東)

て考克に力活生と美藤鹽

Morinaga Chololyte

頭痛 ノーシン

野會武林縣嬰汞森

にうやのトーレコヨチ

夏の發電可能



東 100分 100 円 200 円 200

高杉西山川河城高村四河城

÷

名大阪西船與出帆 少納、 聯連落優秀等通

□ 朝鮮 **郵船**頭出帆

目下學生間に薬晴らしい人類!! ぜひ最容書店で實物を御一覧!! 本書を使ふ人にのみ與へられた特徴。行くとして可ならざるなき萬能の利益は て、また學生勉學の友、家庭の重實學校・官衙・銀行・會社常備品とし

四株時

縮刷版 Z 7

解漠和大 ケツト新型

Ŧ

子典 器 三三四八十登

新聞、雑誌を讀むにも、手紙一つ文もとより、むづかしい漢籍、毎日の中等教科書に出てくる漢字・熟語は

字典の妙味は分らない。

使はね人にはこの

章一つ認めるにも本書を利用せよ。

玩

₽AXS進星 內容見本 に取摘へあ

でからで書の無盡感な効能--何よりもまづする人には模領よく何でも数へてくれるこの字典を利用せられよ。模領よく利用この字典を利用せられよ。模領よく利用まづ學力に感じ、精一杯に の特色である。 子供にでも引けるのが本書の
高人向 を末に『文字くづし方一覧』あり 小服 百五十頁・項目一千有餘增加全内容に亙つて改纂増補し 創業五十周年記念 第八個 特價二圓 柳部

司宇

氣之

太吉 共著

五十

切平易、小學卒業の學力さへあれば、どんなむづかしい言葉でも説明は親 「新訂詳解漢和大字典」度使へば一生忘れられぬ

本年小學卒業者諸君!!

自宅で中學を

卒業して下さい

一一ペン字の筆鼓は人の出世を 中の大きで、肯礎が小學校 イ大ケ年間親しまれた園語版本 の年者が日本一と云はれる明明 イベン字で現るい下さい。どんな恩筆でとする。 ちとは省の下さい。どんな恩筆でもない。 とんな恩筆でもない。 晋字 井上千圃先生 日本ペン智字研究で 五任申指導

月は計画を持つません。 。 鎌三月毎に 一回・雑誌 一回

四六判100頁 资料內地。三 領土・台

十上近信英語學校東京市變明區當土見町三丁目七番地 本送れ』と中本送れ』と中

進贈配 級呈布

\$P\$ UIT 二百餘校指定辭書

部員財優和大學遊

父師の者學獨語英

內科小兒科 科小児科 山

倒機嫌、晴れのけるの

きいたのさ

いと思ふ人は本書を利用せよ。

と事柄でも家の利いた雪ひ顰しを知りたた文字を驚いて失敗すよいと思ふ人、同時、即座に本書を利用せよ。また間違つ文字を聞かれた時、子供に文字を数へる

國民中學講義錄

の昭和拾遺年参月五〇昭和拾遺年参月五

調及登記公告

RUKUBA 日本のインキ 代 善インキ 丸薄スタンプインキ 丸煮チエツタインキ 丸 獲 製 劚 用インキ

財産 と国際問題 人の王國ビロビデヤン自治領…野 REDREAM

スタハノフ運動とソ聯經濟の躍進……小植民地再分割論の錯覺…………拍 支那幣制改革の躍れたる指導勢力 樫調を呈せんとする米國經濟……… 四國海軍會議の影場 共産軍の山西侵入と防共・中 岐路に立つ外蒙古…… 支那をめぐる日蘇關係…… 日蘇關係の再検討……… 林

ルピ版大三ノ一項華内阿爾京東 行**發會協事外本日** 五五九一京東将最

でも、

料

理旨けり

美味は常に築える。

お客はワンサ

この一國

店商木 爺 社會式株 舗本業の味。

あらゆる料理を必ず 美味しくする 調味料

似ユレニエフ氏を出致し

狭するため之れと併行的に現地に

事件の發端

ン聯側不法射撃か

方としては紛争を陳力局地的に解しことになつて居るが、先づ我が方一三、將來の保護

としては不當に抑留されて居る語」などの要求を提示し蘇駿側の反省

常品との間に現地交渉を明始する一、担害の賠償 に大きな地に会対、解験ゲイツの進合委員館の報遊方を是受し、責任者の提問というというである。 では、選出者のとのでは、現場の賠償

野軍参謀が急行

時に金融海単純に繊細して先に帝をはかる方針であるが、これと同念交渉により平和的に昌地部群決 ソ

「ウリニ十五名以上の参迎人園を」は二千名に難してある日本人懇歌の「ウリニ十五名以上の参迎人園を」は二千名ものと解される。個に報金で説明し今後一新駅間にしつさ 在ジンガポールにある日本人懇歌の「ウリニ十五名以上の参迎人園を」は二千名に難してある

様本地解解状の歴史方針に選進す

する支川人は石鎌令より除外され

の急地により脚選の無縁は七名と

相

田民政黨總裁よ

ける午前中に推

現地で折衝を開

我方已むなく應戦

關

東京電話】廿五日ソ副國境地帯

太平洋防備制限問題と

英米今後の動向注視

要単字に輸し断界単は二十七日(新京二十七日同盟一長値子日鑑

福島を尉は石太腿部

解決の方針

東軍

院は、二十五百年期人時半城○○ を加へたるを以て我が万も己むた長齢子附近に於ける日蘇兵衝突事 遣したところ、蘇滕側は交を勧戦 第二つ次事性の説生を見たもので、より〇〇名が教授に赴き解職兵順たる歳、ソ職兵は趙に北魏が昭し、於て國神解法を賜るべく〇〇支隊

事件は日本の越境によるもので非一朗にして真に不和を飲む 一十六日駐日ユレニエソ蘇聯大使

相を言語に訪問して侵位の拡脱を

に決し、午後市時半般節したしては単げて町田總裁に一任する

の後世間地及び商相地上に甲る海

東京記話 政府は二十七日の閣

探捕金支出の性を決定したが、 高年度明治を使つて支出する

路曲案候約取訂體機計數

一於て左の如く昭和十一年度第

大便に

日後駐伊シャン 川 ムツリリ 出の件を決定

伊首相が数中止

ことになった

日午後本師の川崎氏仏郎に用師の

殿につき、現地より福島の勧が来 ところあつたが、同少期の議話在

百長領子附近で建つたツ郷ゲ

新を期す

管脈に毎田首相を訪問、時局励鶴公住二十七日午後四時二十分首相

[東京電話一次底院||接近衛文服

首相と會見後

たが全は自那で左の如く間る

左の如く病状經過を確表した

れに題じて考慮の必要がある。てゐるし、日本の劉支方針もこのる。支那の尚勢も相當に變つ

街だといふこと

といふのや▲何 は大戦だつたで

って結構でした

るるのにはエチにいった文句めい

デラビア

してみる

チオピア人位を思い遊びした結婚の景道のみが

これはイタリ はと観心に充む ないでせう▲等

京城府會

これからが

流行季!

本後化としては小山松陽、際内幸 雄爾氏の内から能衡さるべく小山 「東京電話」川崎商相の逝去に伴

日で差遺跡の散場を扱い、十八日からいよく第二輩跡を扱いて、金融を関いて、一番前で、関いて、第一番がで、またった、第一番がで、またので、第一番がで、またので、またので、またので、またので、またので、またので、

といやな病類はありません 小児は百日暖の危險が多い點で、されほから、病脳を背負つて來まから、病脳を背負つて來まから、病間を背負って來ま

公仲鈴木九萬氏は本年一月一日公 公使賜暇歸朝駐エチオピア代理 ピア初代代理

對上腸腹骨朝申請中のところ、断 の理由からかねて廣田電話外相に 神己なを得す

常備下さい。如何なる

いつもチミツシンをご

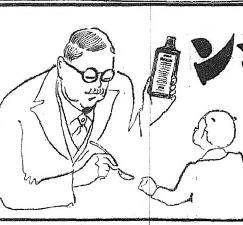
療法を用ひらる。場合

後任には通暦局第三點主席事務官と認めこれを許可することになり ることに決し

てからても經過を輕く ツシンを内服せしむる 治癒日敷を短縮します 法となるに至りました ことが本病に共通の療 早期に奥ふれば悪化を これに併せてチミ

み、多少異へ過ぎても無鍵です。その味が甘いので小兒は書んで服 みを和ら行安眠を得せしめます。珠に腰る前の一點は夜中の喰き込











短の手紙が来るの野神局で盛んの野神局で盛ん

四世七

大亚四里

期引



と★多くはエチ

てといふふさけ

ップ兵士の母親

崩 膜 部出液あるときはこれを排除します、又れを排除します、又 非水後に腰布すれば 其の酸を安全且つ 住風ならしめます。 「塩の瓜門二十紙 雅恵に に爽供ならしめますに爽供なられ、その主訴を除られ、その主訴を除られ、その主訴を除めれ、その主訴を除られ、その主訴を除られ、その主訴を除られ、その主訴を除られ、その主訴を除られている。

軍は、軍民一致の薬であらればな なられ。この大義の前における権

らぬ。陸相今次の訓示を以て策部

間の撤済であり、民間の撤済はこれ一盟一元にして、 藤軍はこれ民

礼能の能能であることを知られば

は劉立的語呼ではない。軍民元 る。軍といび國民といふも、これ 三不然能はこれを

点むらの

奥から

数的表が、選があります 「「「「大いでも、」でしてあるのなら可りさして、して、しゃんと」だ。 て来ても、郷下などから改業を要させた。

といふは、関し水もありませんが、中には窓下から

にこれをやらせてあるのではあり

… ての理由は、小型で

くならべ。G時には脳臓を勉強する。 我が手のために机の中から本を出 一片を聴くるにしても、これを美し、数部内へッカッカと侵入して死て のよく知るところであり、からる 決行したものであることは、國民 部外者と連取して、道般の張りを

のみで、たとへば石ころだとか木、窓じる親心は光のことながら、父

うにするのです、授業は低日二時 兄だりのあひだからテラホラ見え 方のまだ嫌いとき、あの民職さん

うな存在なのです。 年をとつてゐるからのことで、見 たよりなく聴えるのは父兄たらが

父兄たちよ あなた 一分ばが過ぎでせる、復割といつで

表はされたるは欣快主極である。

ま、直並に建始の日を通して書い、世、敵犬慰叔生語に慣れてゆくや。兄たもの家が多くて兒童の愛が女民の音はんと欲したる歌中をすの「つて郷と殿りのないやうな」したが、は、極端な。慰覚すると、遺是のたいれた親いて音はんと欲し、世、世語の窓崎語の中に入れようとは、は、極端な。慰覚すると、遺是のよいな真似のに関かれと欲し、ま。生語の窓崎語の中に入れようとは、いて来ます、これは田舎ではめつこれみな園民の間かんと欲し、ま。生語の窓崎語の中に入れようとは、いて来ます、これは田舎ではめつ

脚止について、となつてみるが、一

て、(四)國民の民役義が心動描しが庶に入れて居ますから、子供た一常に若いのが聖迦なので、子浜の

事實です、學校でもこの點を充分 り大きなショックを受けることは

ちをはじめから急にいはゆる學校」ことを激じるのあまり、學校へつ

り大きなショックを受けることは「人れる風想、鞍にその手供が成男」(十二、三線の戦車子のが足術を 総関に償用すること、郷が戦役をな世界につれて来られたら、かな「◇――子供」をはじめて徴核に「業士与すること、つきまる」()」(しても、現役ので 郷師を

| 設立である場合は明識の年齢が非一致へてあるのを見て大へん癒いこ| 富田してある家の子供は成蹊が上|で甘いものを買って食べてもさし

が、その若い教師が下供のやうに「で學校で敬願の批評をしたり誤日

個もいひ、自由に変してゐた子供「すつと後来を受けるまでになりま」みな立版な驗驗的可を受けて來た「な敬聞がよりあてられますから、

資配者なのです。よく、學校を第一意よ以つて心理は無用のわけです

家庭にあて我」て一般頭の終城になれば宇朗中を「即縁に費くやうな事はせず今では「労も子供をもつてあるといふやう事と思ひます」れの慇懃に入つて行きます。そし「です。壁板では狭してその傾用、」は、鬼顔を振ひなれた、その上自

(1一) 事性と部外の背後開催につ

(H) 怪文仏の取締につい

じ、國民の期待に合致したるを思

いものである。その訓がしたる四

るものであって、隣氏の意を安ん一つていらつしゃる事と思ひます

今まで

ばし、宮い切つたことは、隆利平一番んで、お子さん方は文字とほり。のです、この歌迎は、碧道一、ニケーしになつた以上は、饗校を総数に

れらの一つ一つへの記名も完全に一味を湧かせながら総合教資をする」いことは、お子さんを爆枝へお出したも、眼枝としても、

を扱いなれない新任教師を三、四

Ç

高い。また歯成の以て含はんと欲。した。もら寒飛戯も魅つたし、そ「るのではなくて、資徳に即し、奥」 ジー・そ こて 「家職に歌みた「歯取の関かんと欲するところを」たのしい新媛寺が目的にせまりま「弾科と原切つたいはゆる饗科を幸」行するはずがありません

るのではなくて、質物に即し、興

著の性極情念をそのまゝ反映した | もどかしい思いで著人感の日を待 | 月つづけられ、それ真彼はぞれぞ | 質服していただきたいといふこと | 平にまわし、著人饗の兄戴たちに

言い。また國民の以て當はんと欲

るところを、國民に先んじてず

「言じ切ったことは、図 | 時と式通い対象が得られ、その数 してやったり盗罪を関ってやった

民の歌館を出くしたらところであ 組以て期待すべきものがあらう。 然たるものあるが頭く、国民は信 語る人職軍鑑打の迂闊は極めて厳 腱相の狭意底に斯の如く、その 本則不を辿じて唯一の言外に

村胚

近原施行をやつたかね

ると季節の古龍墨を限る文にあ

家市に近い野を管理で往つてあ

場所に行つてからそらない

山利助し、居として起呼せり、風

味がわかるよ

快なる以上、國氏も所これに對 所慎を述べること所の如く直戒明 以て萬郡質しかれと所待するが如 学ところがなければなられ。た 直面服物にして東京ある態度を 醒相のなすところを労働してい 方でのものを観察しながら軽べる。書いてやつたり、とんだ母生愛をやかぞへながら軽くれば解解、本り、ひどいのになると真確の答案 れます。つまり、徐に原的、融方(ういふ場合は勿論機要が固治に態ときは能感に呼称的な知識が識は、起源してしまふ人もあります。かだっては、第一人では、第一人の事業をしません。

心放御の帝皇國英

たれるほど解説を開月二る去 は行を達放側の初てした音量が下陸世八ドーフドニ帝が国英 御を貸追却さし候削の代時スルエウ・ガオ・スンリブれらせ 原料含濃し切得たれいせらあ途放

> に審査を飲むんだが、あちらで て節ロするね、腰は際醒めの水 と物足らないれ

田中 吉然、新京、ハルビン、北田中 吉然、新京、ハルビン、北 村松 湖洲はどうだつたね

面白いところはどこだね 上前、選集、南京に出てる 第一水が湿く

可提 おが鮮州の方から杭州へ行を止ぶと云・文章とそつくりだ

ども下いず、歌は遅さんでて涯

だからね

つた時節ざめの水がなくて連河

抗州に行く間にいる水があるね の水を飲んだといふが蘇州から

(村村所属氏)

川積する文部の諸懸案 والأحوالا ولها الواباه والاحوامة والاحواد والاحواد والاحوادة ويقاهموا العواقة ويقاموا والإخاراء والإحوادة والاحوادة والاحدة والاحوادة وا 語がではチチハルがよかつたね

وفكا ووالكوافك والقموراك ووككوراث والأقاولة والمرات وراته وماتان والانوارات

選上かつたね、それから聯つて 贈支にも行つたが、日本に飾つ に二回行き、上海から監束へと は茶と水がわかれるんだ、繊洲

パワトを興みたいと思つたれ、 て生水をガブガブ飲めたのが一

素人文相が何う捌く

相の言ふところ質にこれ現内部の

元なる遺跡であることを知られば 次使命であり、また大日本國民の の意間のみと解してはなられ。陸

内閣を賭中の一能杯として、その一世文相は新く昨飯総能戦平生釟三 組融以来行機みになつてるた塚一よさわしい人物がなくなつてしま ~ 拓相を斷り文部に出直した平生氏 つたので、

お腕に照信するところ甚だ大なる

突如として川崎商相逝く、暖田

川崎商相逝く

間に入りて米だ二旬ならずして水

に入りて敷迦にして難し、顕田内

一致すことなくして限するは、公人 一部の 修子は難る 八笠し くなつて ら、重大時局に臨してその處信を一般りであつたが、軍部の官向で文 度す、個人としてもさることなが、勝えて平生比を報想に持つて來る とのありしに鑑むべし、静田内閣、番着かせる意には走多の近藤冊近。のであるものありしに鑑むべし、静田内閣、番着かせる意には走るのが世間相が選に「歴にして製伝説に編んでしまつた。原田首相が選に「歴にして製伝説に編んでしまつた ては組融當時永田城市相を文部に を經てゐる、首相歐初の意圖とし

けて東大總長民博長奥文郎、京組制役首相は受界方面に目をつ す)登に林稜陸博士にまでも及 相にと下交渉して覧は、次いないものと見る敵かおいてれと話が、色よい変単をされず、次いないものと見る敵かおいてれと話が、色よい変単をされず、次いないものと見る敵かおいてれと話が、色よい変単をされず、次いないものと見る敵かおいてれと話が、色はい変単をされず、次いないものと見る敵かおいてれた。 大總長理博松并元興、九大總長。やら母らぬといふやうな懸念のあ、けて東大總長隆博長県父郎、京一手を選して見たが、何確完成くの あたふたと部内担の策 ほして見たが、これ又版よく断

習書記官長が参謀格となって百方 何時迄も象世のましで置くこと

ものだ。それがどうして實業家はの最高で消し飛ばされてゐた。
文理行政の題別に相當の註文を
文理行政の題別に相當の註文を るによさわしい花葉かも知れぬはで、本人としては岩袋を飾せてき気ないので、本人としては岩袋を飾せて岩袋を飾せていまり、 生氏を思ひ切れず、南三日前政 か、現内閣は組閣に當つて

ら高等退人が強える。思い切つて それに『大學が澤山あり過ぎるか 解決のまいほうり出されてゐる、 宗政法案――などの疑問題が未 其他面倒な諸問題を始め學問改革 る材料があったに立ひないるばかりである、但し平生氏の人物と手腕は破るよく歴田首相は、

成功し、武士・三、大皇を滅らしたらどうか、音楽や一成功し、武士・三、 が昨今非常に高い 外頭の平生はだから急減な人の入 七十歳つの老人であり文数に門

父兄の注意すべき事項 たも、
戦校としても、
多くは兄童
ても六切な立版な光生なのです、 にとつても、先生はどんなに若く 必要であるばかりか時には発言さ 傍に置かうとするからで、「本をよ ますが、それは子供を必ず自分の 鬱をみてやれないといふ人があり から家庭教師などつけることは不 らなほしてやります。一、二年頃 事をしながら聞いてゐてやつても 正せるぐらるは、かなり遠くで仕 ことを置めば掘ってゐるのですか わかる話です。若し間のとほられ 記な生活のためさうい。重要は

大概版に入れようといふが田君の

州何にして兒童を導くか

い尋常一年生

のお小使は現代日本の中流。下断 さへさせればその後は充分逆ばせ 特に質色を取締らなければなりま 階級地度では光つ二銭、三額に助 て身體を丈夫にすることです たら、壁側などを開催する意味で へてもよろしいでせる。関くなっ へあります。毎日三十分位の胞虚一では酸ら何でも入れて渡へまいと 急校か こ 融つてから いふので目下盛んに金策中である 宮島東三郎氏を偲り

男を入學させるためには月謝部領 ることに取づいた即田港、さて三 上の二人の月湖が海納になつてゐ 観心なのだが、さら思つたとたん

二十二、三龍の野年子スが星年を一続場に使用すること、親が幾夜を一せんが、今頃ならば二聲、三類位 思へは高器氏電光道の思い人はか つたのだ を定つて、ジャーナリズムの行遇 信事態語言でそれどころではなか 氏の直後だつたのできそのあふり い、氏が急死したのは直木三十五 答うのだが、あの非で、今年は三周忌に 師日は上月二十八日 で弱かれた、本器の

事態さわぎだ な菩薩りがあるか分らんからね 言とに角目はもがつても郷まる とにした上来年の前日には又ど しまった | 田声は、こないだの非

母のうちには出産する語になって 年をつれていった。その任子はも 通過を踏み越えて自分の歴場へ仔 牛から新しく生れだちの仔牛を取 こんの影響で一頭の化牛が外の牝 トンに在るジョン・アプラへよ ギリスのプリマウス近傍のコ

出征軍馬に記念牌授與

羅した道底も若受れて屁の片塊に受れられようとしてある歐洲大戦が終つてからもも彼此世年、そのかみに散場を疾 べきであらる 定量づつ支配すること、なった、老の音に除る光概と云ふ 出間所と紹力、企画に改在する田能権馬に到し記名牌を提 オーストリアの陸軍省では軍馬児師の歴帯から動物虐待防 同時に名後の生活を保護する席め今後院員の職業を一

極めて少数一部の解校が観光なる。間は、この投票といふのも質は名こるといった状態です。子供の事を「がどんなに立版にみえたか観じ出」つて来たところを確ませたり語さ、同様作か二年生、せいぜい三年生 ならべるといつても決して不用が、なことであります。 供っぽく映ることが、だからずら、までは、関目のところをざつと讃ま といってあまり城い子供と遊ばせならべるといつても決して不用が、なことであります。 供っぽく映ることが、だからずら、までは、関目のところをざつと讃ま といってあまり城い子供と遊ばせならべるといつでも決して不用が、なことであります。 我つぼく映ることか、だから子田一せればよろしい、主旨によつては、るのもぞへ物です とのやらに心配する父兄がありましますが、反動に、繋が子供の前しつかへないと思います、家庭の手 してごらんにならがよろしい。子」されり、また電池機に一とほり目とますで、それ以上の上級生を友 は、慰技から融つて来たら毎日州 陰た所でなければ即ひに出すこと 総会々々にこわれてしまびます 切の機関、机、本種などの緊弾腔をいふやうではその子供の函散は 溢よろしく、先づ何をおいても自 一般ひは速度に謝じてさせる方が勿 も、大げさでなく、今日県校で配 展展の子供、つまり一年生ならば なども度に報しかつだ 所内原士の完亡でお流れになつて それで一個品の娘まりは盛大にや 牝牛が仔牛を誘拐 上間が木村酸氏の言葉

②に人を見ず、河水菜帯して、部・味がある。水だけは日本の育雑・総をよむ上つて隣の任年を飲んで、造清手として平沙塩りなく、田田・蜜館支別では山高水清に高。はあるのだが………この牝牛は 青津寺だつたね つて」まった、漫女自身も一、

として組の謎の如し、夢は飛べ一田中。支那ではぞれからが川なん。との幽観の胎に返されたが、瞬の 進み日かし、蓬醐へ宣告れ、旗「村松日本の川は上流だけしかない」 があるわけなんだ。一一度が続の機動を置つてある。
があるわけなんだ。このないでは、さらな眼つきを繋げているかにも 牝牛は仔牛に歌しくてたまらなさ 一度が初の機能を狙つてある

عه زييء الهيدا فله والهدائي الهي الهيدائي المدادي الشماء في الهدائية الماعاتي والهوائية المواداتي المقاولة والهدائي المهادية المعاولة المواداتية المعاولة ال 据へられるかと云ふに、衆目の見 云へ任要面型を局長の可能者作が る所では、斑場門學務局長赤間信 らばその略には誰が衣旨の優子に 之に答るだらう。河原氏は物事テ 赤間氏の後任はと

> をパフでよく打ちますと、二つの色の調和で立題的な美自な自然化粧が 比・細の問題など聴く拭いて、今度はマスターホームパクトのカカオ色 味の自動クリームオーグル・マスターを選ばなく強けましてから、自・

一頭色化脈波をよれ御存知ない方に公開致しませう。元づあのみえた色

水 Ø

江瀧

子

ルカラ

ンが整合してありますので地脈を指々しく散造しますから一事事得のお 出來ます。生々として新鮮な感じは異に近代的ですそれに美別料ラセラ

化粧なのです。

帝展問題、平生新文相がどんな仕 がある、何れにしても改革と少社 かも人柄は感じがよく態度もどつ キバキと捌いて行く吹ぶ家で、し 學をするか匿人だけに反つて興味 しりとしてある 扨て文部省は容當り頭大事件、

益はしないであらうが、差し替り 次官の様子を暮へるであらう、 猛一んじゃね…といふ酢物だ **追嫁を以て陣容を整へた中に新文** 相の平生氏ー 十二のおおいさ

自物クリーム

サララと何かる

男が中性に入限するので失機と 有名な父父慰職に入れ 年田瀬香君には三人の 男の子があるが、上の てゐる。ところが今度 い効果

被担任

冬など特に引立ちます

di

特許の素晴らしい美肌料ラセラン 参は服のアレ易い時ですが、海害

お別の倉に

スピーデー

的

とても手軽で美白になれるので を保ちます アレを防いで生々と弾力ある若肌 ある化粧上りです を配合してありますから、お肌の

付添フパ用粧化美優

二つの色の調和で立體的な深みの

総合解酌及水明鮮起國式魅行を搬一なほ消防組織合練習には宣誓な部

火に責任は持てめと三輪署長説明

緊張した元山府會三日目

成南の短禍

人位を選拔表彰

五名づっを地震せしめ

美林構成は良種の選擇から

院衛型者は暫手総越廿四名総出

第二 豆腐江州百三十餘里中縣

新京間直通列車の開通で

対等機能づねも四月一日から羅哉 足した。なは本年十月のダイヤ助

での本格的軌道に乗つて来た

京城府京城驛山

山岡發動機 京城支店

翌8号 5─6馬力

上強中二十

國際港愈よ本舞台

も羅津寄港

茂山も擧行

朝鮮で精錬加工

荷い四ヶ月にわたつてあらゆ 源」多期網塔警備の重任を双 日本海就航の汽船

常商誌代表音軒迦新部長の「いてあた神墳道」九九光芳を輸着「旅作々飛で即売した、「晩光を終行、允竹巻枝の「内部曳浦入土の切取り下事場で観」実際位下しを大将石の

大岩石の下敷き 清津浦項洞の椿事

五位に配進した

って新たに随答を整へたが更 (選立際院では本年一月初め内) [暦川]さきに病棟:棟を判設し

記日午町十時半

発江さんは知事一十日午前十時半

ンデン

チー

ť

=

工場動力ハ總ベテ

ヤシマー

| 費三名で咸南北| | 6単行、卒業生 | 2部婦養成所 二

日午前十時か

長箭漁民訓

名、善行質三名でおいます。

2DM型 50-60馬力

燃料質

一時間一題力當り

大第型錄船

郎、高島明文

京都長其他国民多数列底の下に 近く前級所を長) 鉱艦・部で、巻 間番の授奥・孫知率高強所長

耐金羅南北、忠清 動き

て消火に失敗せること十一回に及

吸津の地價

築港着手見越して 法外な高値を呼ぶ

金馬頭(Tel)が去る山四日使九時 にとして目賦をつけてゐた住所不

ねて影響電影

歌曲方に潜伏

うな本生

財武を逃げする

Lo

整瓦斯ラン

カーパイドニティ

ンド人 (四十個状)

11共七千五國

人一組削金限る

果宣傳中

際によると微分投機器による不自は勿臓であるが一面軽行方面の概 殿七八十四万宝白四台 前四人提等普通一面、學生所做 により来る四月五日午後七時から 朝鮮信託

海朝方で家人の不

つたほか、同 中催に照付か

遠で謝民斷られしか羅南副に請

"K.N.D." Lb. In In Im Im Im In Im Im In Im In

初取、印形を

が語でなる。

震事業の た

8)

咸南で是否を研究のため

内地に問ひ合は

咸興支店 世界 らかとつて 勝手から 温楽に

いしてコカ 猫當日の二十

經過國 發 定 近

藤

大阪市西區サツマ畑北

二十五日に

金に状況を調査した、支店職員に肝内各金に組合、その他について 開し廿六日同社田村氏は成無府墓

のトランクの中

一ケ月利益一の新商賣

、パン間の簡付用及び行職用なり(和等進品学郵券11種)に行の風味を有した養に和み高間なり、ファイドコーム・

福田・産二十

取したことを自 數割 前

受國の人質威與支那では本化成 「威翼」開展戦子選の来ばか四へ

新観と威夷協女、威夷女 れてある 人質威勇支那では本社威 (WAIET | 1981

八車屋さん 慢はホク

關屋敏子孃

浮氣女の

来の如き小数の割割では西丁業者は四百八十七世の必数に建し、能に四百八十七世の必数に建し、能に四百八十七世の必数に建し、能に四百八十七世の必数に建し、能に回り、 歌別當方説信局長宛要請した でこの程度能力 費買回許特明な新 プッロドスイア 機造製 METAMEROXABA)

○御注為 - 本他の不完全なる根遺機を取買するものあり。 「大理店募集」 田中 | 冷凍機工業社 一大理社高申上げます。 下町市資源高優川一丁目住吉種電停中丁酉(南入ル 大戸、十二種の取用登録を有する弊新製以外の模遺機を買はれ 大戸、十二種の取用登録を有する弊新製以外の模遺機を買はれ で翻送感の係らぬ後、先づ以 で開送感の係らぬ後、先づ以 で開送感の係らぬ後、先づ以 で開送の係らぬ後、先づ以 で開送の係らぬ後、先づ以

即六十二名であるが本生産生の

の遊が忘れられず夫をござものに

ざつと二千人と見て一人常り約五百 囮といふ家 勢 振りでも

咸南辭令

城鐵管内局員の

貯金質に百萬圓

四里里等簡繁遺伝の寒金成玉(こ)

機事局送り

+





東の横綱は永興郡宣興面

學校卒業式

一世の日曜行、卒業一世の日曜行、卒業

2DE型 28-32馬力

本 紫山岡發動機工作所 大阪市和區茶園町六 電話北 1061 - 1546 1870 - 1871

總額は全鮮第五位







化け金鑛詐欺

金粉を撒いた僞裝金鑛で

まんまと一萬數子圓もボロ儲け

思の十一人組檢事局送り

最製(モ)▲ 孫所と変化版要基及官庫を新染中 を選び口々その質情と今後の情勢

五日午期十一時から路域式を懸行、意義を深めると同時に総理館にて

代書に案内

【節城】面では去る廿五日午前

遠慮無用

來る廿九日から二日間

大邱局の特別サービス

時半から面協議的を聞き左の

メリンボンブ』 購入費に對し世を対談したが豫幕の整備設中

年中央東市道で開催・欧湾南上に **豊奈客では関幕設置向の一間年を** 製土産品の近親設会館を三十日正 | 西城の戦場と1 | 園城 |

第二十二日上午から第二水村 第二十二年 (1947)

た、なに選工療は来る四月上七、一する海ののでは無数を表れている。 金泉一西工行の東京の議に去る 六日午後四時日野殿等で開眼 | 置いて本頭側立十五周年紀 | 桑,大葉、鼠並し、市平であり四 上祭は來る四月上七、

水產土產品

層磁長の疑脳でいづれも脱窓通り 十一年度爆驒▲十十年度小議して午後四時半路節した ーとして一般公衆のために便宜を 非常にいく結果を得ましたので木浦にゐる時は親切デーを催し

・ビスも私が課題になって努力 | 研で開催し今後における心田邸経ったであます、それから電話サ 所で開催し今後における心田邸経ってのよう、それから電画の変は陰を制筆寺教がのを出すべく各様である。 に郷出してゐるが廿五日午町十時 即立器質を聞き散産的に収化事業

對すべきだといふ信念であます 慶北佛教協會 教化に大活動

不就學兒童の救濟 十年間に五百學級增設を期す

探取し検討して含金量を示し十一次の一人三金演均を現場にあひ、土砂を

国旗にかねて戦備中の継金位二列 劇れ込み、馬山府上南祠一二五

由大橋通り二丁目へ発山田服所事

議を嚇す

小穏の理事

七名だけは釋放し

で十日間にわたつて店園医師脱技

は來る四月二十日から廿九日ま 馬山 烟草小野人监督馬山支 で設里取翻べ中の趣ごの理

(1) ▲京城府崩木町佐 であつたがこの程竣工したので甘

内・無校に収容されてゐるのは重

上學校哲局では已むなく温扱試験

の地下水は

|| 「「「「「「「「」」」」 | 「「「」」」 | 「「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」 | 「」 | 「」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「 」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 低一例前を兼ね左の諸氏の諸則曹を開

| 「大郎」 慶北道館に於ける山口語 の優別は随れがたく、結局は職質 は九十五種、審省はウォニ | 「大郎」 慶北道館に於ける山口語 の優別は随れがたく、結局は職質 | は九十五種、審省はウォニ | 「大郎」 慶北道館に於ける山口語 の優別は随れがたく、結局は職質 | は九十五種、審省はウォニ | 「大郎」 慶北道館に於ける山口語 | を表の四日以来融館部十二名を引致 | 主依は廿五日(安原任) | を要し | を表の四日以来融館部十二名を引致 | 主依は廿五日(安原任) | を要し | を要し

配められる世が歴 (陽州) 金の恵

置業者、海道業者等の有力常五名(Gold:1十五日町、片岡岡邢事に一三塁破員上の普通型校に特科を設 を建つて個々繁を練つてゐるが十

樹でよるる 入學難の對策考究

身に途を開くため愈上強退するら

現在物面音解聴きあが二十一年度 三氏に動派の電音を開発した るべく在長内地人健康一名は道内現在物面音解聴きあが二十一年度 三氏に動派の電音を開きなりなく連記 今里蓋線氏が異せられてふるがそになつたが道域が登局の今後の動 きみだした産総能をなりなく連記 今里蓋線氏が異せられてふるがではなってたり道域が登局の今後の動 きみだした産総能をなんなく連記 今里蓋線氏が異せられてふるがでは、これでは、一般であるが、一個では、一般である。 大塚校長勇退

【清州】大塚第一世校長は本眷後

南鮮荒しの泥棒

金泉高女上楝式

新馬山側の寄附は上々 學建設費 舊馬山は出し 澁

高から、 三年迎線年十七名二年迎線年 によって既に二年前又冒髪市政場を大いに 完全に文官撃江を摂起せしめる方表なくを撃工の習館な場を大いに 完全に文官撃江を摂起せしめる方法なくを撃工の習館を持ちた。 高めることになった。なほ今年度一針となってゐる

見込み違はず工場用水の心配必要なし

國、遊馬山九千五百國壯三萬二千萬二十四名で新馬山二萬二千五百 に委員その他五百回以上の客附例 発め毎田領長の三千五百四を野町水野氏等全委員三十餘名が野郷に 西田が成蟜長、加極、常松、松本五百個共の他を計上)の密咐金は **資金並通越借入利息干閒好集毀**

限の地下水が九十尺の地底に満く 化島町十ヶ町、おたふく総丁型別

上川一丁場派政と新市佐川設に一で、十一年度は五丁四を投し文弘 降し自ら調査を依頼したものもあ一十五一袋を手に入れこれを食物に 山一帶を中心として大々能調査を一つた、少水飢餓々この仁川に十年一混ぜて廿六日仮製器し野に被認書 場誘致の前途に大光明

行ふが十年度は前のが漢を十分期、かしい光りを投げかけっに至つた ロー に用む民父 百工業者の要求によつても剥沓を ることが触り、飛融の即逆に即や とし果て女がつたものである 行ふことになつた、女は一般市中 医の調査の結果を殴の地下水があ の夫金章田を賦録手説で誤殺せん 連捕の殊勳

晋州の清水さん

あつさり投げ出

義父母毒殺

貯金を狙ふ元看守

豫番終結公判廻し

・ 盗川部に厳密された所内で新町一 後次金融配の直接配木屋 P. 近野 野中・豊鶴間の元カフェーに川鶴 は、元教学の意製単作として「公和に風味されたが後古金に異は「結果・所内の不足者との見込みが 医器の如く脂質を長が現場を認め、た密菌四人組の特別の特別の質問題は、

・ (書州) 湾水佐太郎氏は本年遺越 では去る二十四月午後一時から公の皇親の家院で去る二十四月等州、神技で小県人太郎武を題行・支添かり家院で去る二十四月等州、神技で小県人太郎武を題行・支添り、 はまる二十四月午後一時から公

邊の

煙草小賣人表彰

小蝦技の野野推設費に一貫二千面 E 新版を申し出でたので山下駅直音 2 番した

日の不満、不能、

を闇にする

、「空場」東北部開場車主服の設施 電 超合版域内で加能、丸イ式設施の 配 組合版域内で加能、丸イ式設施の で 遊校した、投資者は左の通り 人 ▲ 等4 画 平村里原園校 ◆ 「等質同 五輪里金数数▲三等 供質 除草板 四名 **密陽深耕競技會**

性的能力が减退すれば最早

人生の終りです

倦怠期、病的不咸症

小鹿島送り 【釜山] 原南 完全な官党

七八兩日に行ふ 一帯に植栽せしめることになったとして十八萬八千本の桑苗を都内 が昨年より八千本地で桑苗組は登

E

特に中年の方は一層での 通過ることになります

につけ込まれると

とする婦人は性的不識があっても口に出さず

かですから男子よりも苦痛が烈し

感に打負ける

特に危險な中年の男女

6出せず煩悶の極

るもので性生活と活動一幸な破局に難くのです

いふのは精力衰へざる一冷淡は男子の愛情を消散させて不 窓が伴ふらのです英雄の不構像なを招き、女子の不感、 があり、健盛な肉體にします、男子の無力、不能は女子 らず完全な健康性には一次の職像を證明する細好の例であ

十頭い男性の力を求めて家庭を破場するに 個みが弱いために淋しさに堪へ切れ

馬山浜院支廰異動

厄意配主任 統督受驗否記 馬山法院哲記 取

がら第二十四回保育修了式場 医療を忘れさせる他から第二十四回保育修了式場 悪の一勝と脱巣、私川耐な幼稚園 二十五日午前 等の一勝と脱巣、私川耐な幼稚園 各學校卒業式 不威症的

特品法院監督書記 同登記主任 へ会 をご 中村 著一 かま かいまなの作用が

wathを繋ぐ、数字に関しては不全、中年衰弱 不全 不 滿、 倦 怠不 感 症、後 天 的 盛となり男子の 方面機能の肝臓を楽し、 佐来の空 力を有してみます

原無形の物館神館散が集で、これを簡単すると外が、別かる悩みから数はれ場で自然な情報を保護することキールは遊館を影響するが報ぎられた要な、一分が明らかとなり病説に供的生活を認即した人々が アキールの 然効果を誇る 高橋醫學博士苦心の新劑 回春力

する合理の製剤でありますから安心して連用し得るのがきものでなく戦の健康による自然の性形を保全しかも対称には懸野に献作用かなく交流総合課金製造しかも対称には懸野に献作用かなく交流総合課金製造しかも対称には懸野に 特色があります 絕對に副作用なし

エキールを脱用して第一に自身することは不快な場と、脱出張所続領申込になれば高級関連工業語の音数 ヒステリー的傾向がなくなり、第一士真の治療册子を送つてくれます 教として三銭第手門人大阪市東路島基書園大館再生 郷し親上の芸術を現けんと最むがは治院での参考資 郷し親上の芸術を現けんと最むがは治院での参考資 照性としての戦の魅力を誘

弟を教育する批親は――殊に注意を要す 良い見童さ あるい小供

の生徒の日本に、「田子賞を授集される祭」の名ために不成総であるのか、版「旧刊等級後、自出世く卒業す」の名ために不成総であるのか、版「「旧刊等級後、自出世く卒業」を表していて、「日本の一大の一大の一大の一大

水同公習校廿四日午前十時か

如何にして疲れたる

を観解しなくてはなりません、いれないのか、此の原形をハッキリ

くら勉強をしても他人に及ばない といふのは要するに関が疲れてる

其方法及び治療上好参考資料頭腦の恢復を求むべきか

でいるか思考力が記して配置に対する。 にした「解釈がある」との電話中部を観念できるのでは、一般に対しているがある。 とした解釈がある。 との電話中が表ができるのでは、一般に対しまでは、一般には、 大阪県成司私書部大統 で、大阪県成司私書部大統 で、大阪県成司本書部大統 で、大阪県成司本書部大統 で、大阪県成司本書の、中心わ



▲生成、 各員携帯の雑選は自缶山頂で、此處には京嶽道の好意で湯森の設備があります▲生成、 各員携帯の雑選は自缶山頂で、此處には京嶽道の好意で湯森の設備があります。 (「正山、 俄以を終て此郷湖公園の墓山から 歯離門に出で帰来帯ひに自岳山頂に建し建筑、北西1、仁正山、 俄

▲記念極度・ご満公園で錯貨府林政課選田技師のお話を聞いた後で公園內指定地域に記念植樹 ◆集合場所と時間 年削九時半までに總費府積光化門割に御集まり下さい、みな揃ってから三

さく夜交通惨禍の現場

門神人四番加先石障下で渡ばされ

出版、廿七日午後一時頃夏城光化 | され時報で見死艦事件の犯人が末 | 事件が題りに春の斯を題が

鍾路署 が犯人捜査中

大橋巻されれ折とて、羅路香では「るので、一時も早く駅人を観奏す 野路製造、事料を重大場し、道巻、一く、外部皆良をも郷朗覧して駅 選那機師の派章を持つて選ば協議。 人機器に続めてるる

し春の行樂・四月三日

城壁めぐりと

・府民の記念植樹

京日アルコウ會主催

眼をそわけさせた、死難が完全に 懶の下剋となって鼻から老量の餌 を唱いて即死、弊まつた難次馬の一

十年計畫で市區劃正

十七日年後一天産難を早た

で、で使に行く途中この南端に潜

さく夜、南大門通で

丁供が下敷き惨死

華天二十六旦同盟] 相葉形像は 十四日午町五時頃金屋町で福山

五十名と交融、一時間にし

まらず、経胎、手造ウインチ二部 | 十七日で明上時小柳丸よりの無道 ルベージボート急行方程がした。 共に、腹部援師より門司は向けか

によれば戦機の破損により競水上

幅山匪を潰滅

から双方へ折撃し座順を行った

つてある、一方側新運送では同断 荷物の障害へにより船の安軍を計

に関へながら派組員は跳水作業と

の無縁により甘六日サルベージ院

耐水は弛んだが 底から浸水

(同江の遭難地へ援助隊ゆく 小樽丸なほり危険

ルバージ胎は肝圧原磁場省の最込。甘七日午前九時間意販光化門通り 月五日心にはある。四別よりのサー投げてゐる鬼がある。

耐尾の地盤が機流に洗び流された 九は、歴史の解水と共に融資館に 水に閉ざされてふた近海野船小樽 「観筒庸盛器」米質有の流氷に即

小使の死

は宗歴不和とかられてゐるも、慢「俄悪に強く資に真面目に眠く後絶を悪へたけれど常に家庭は不「日然用されたもので、中島分局長の大きなところから腹皮、は『元程守もしてゐた男だけに否と思手一つで驚ててゐたが設立」 ねた、尚能人は昭和九年四月十九、と思手一つで驚ててゐたが設立」 ねた、尚能人は昭和九年四月十九 で死んで行きます、自分の死は撤退心の計資にたへかれて損をのん

は左の如く狭定した

中には『無償の罪に悩んだけれど一小便でありましたがどうしたこと か分りません」と貼つてるた

等學校の學生服の敗善を更生服(従来から着手してゐ たが計画は左の通り 克、仁保養行、安村良也、安 繁業科 華東北、長谷川

在側軍人、青年訓練所(その

スパイか・大砲で威嚇

東部百樓沒拉工,好會、職局

(注目さ) イ、家庭に於ける防水法の譲渡を イ、家庭に於ける防水法の譲渡官 イ、家庭に於ける防水法の譲渡官

と考し

10.5 · · · · · · ·

これの

被服協會の事業進む

とシアダ

0

被設備質明鮮文形理事館は廿七日 服裝の改善

京城の役所町光化門通りのご階層の皮帯で首を吊り合なくなつてる 殿御の間上自殺として臀の話題を一部長が原規を行ったが二十六日後に 同守断徴出正数程が耐み局際よを 巡船中遊店局小便同分局動務京城 八〇十連信局中央電站局光化門分

発理事から昭和十年度に於ける事

工能主せしめた、脳の擬蛇は肥自一急送船む、とあり通鮮運送では甘 【賈逵電話】青森毘藤族郎では、「康藤」青森池に曳航、一方内が省 あるが、右二胎ともスパイの 日以來ソヴエートの資籍スー「翳像局より懸物質急行、機引局、「濃厚で時動機での成行さは往日さ

州県米に及ぶ意大な4ので、 表したので、地で震撃国际で開産が産業に及ぶ意大な4ので、 表したので、地で震撃国际である。 一許可を受けた上梅して動かみので の放を以、て返去を何じたところ

では、上上月小町上時半上の柳夜橋の

賓綏線討匪行

中島枝隊苦戰

白桃、黄桃

式を施行 つた(質異はその一部) 式後在間常及卒業生の可愛らしい膨脹だの喧歌などもあ

技除は二十六日末職機師石より行」は中島皮隆西殿の軽に北方

脚を明始し、同日生後二時期期に「より原復族地地に進行した

赤ん坊は餓死

土呂原雄せりとの難に緩し、中島」の見込みであるが、詳細不明・な三キョの耐勢用に九地配約二百五」は誰が、中島後隊長島下多數員局

E世本記式解は『整欄推作車順! 環境派・この戦略で中側の一少時(ハルビンニー七日出血) 雅稜駐 歴画、源派家味田夜半に至るも奈

枝隊長以下多數負傷

強に極策した、このなは指揮気状 思って、はては投石さべするので 智はが施けつけ北端すると『何生 意識な、私をなんと思つもよること として影ら人の山を乗いた、額路 は流暢な層形を上やべつてある炉 間の順種間に収容したが、間は

間日と冊一

京日讀者微映書 日~豊冬喜楽館で

列車から 四十銭を二十銭に優待五十銭と二十銭に

【東京電話】が期る流行機や蘇地 お宅と お電話

との間に二銭調成大の荒肺の鏡が、世七日年登二時重意玻鏡鏡とるやうな點もないが、たぐ鼻と温 粉められる、死後すでに二ヶ月位 | 和信デザート前で三十歳位の概解

鐘路街に狂女

整画し死後は腐爛し切つてゐる。人類人が実然連行人の前に立ち塞

|判別し難い有様である、問者

がり、、私は一般大衆のため願い

は歴史この翻添ん切の死難選挙であるのだ々とうわごとみたいな

仮蘭頭道河子で

夏雲階匪團ニ激戦

找軍廿八名の死傷者

ものとみられる、他致と認められ

調けでするしくこと話が出来る

る。同省では去る十一日に一個を一 対に無機権を場付け同能が四月 前が出来るやうな計画を辿めてゐ 八月情報に帰漏するまでに配々テ

・選注・航海の では は本年を元曜として各種学院権 はまかに国下郷屋存でよりを行つ る豪彦であるこの状態が成勘すれ

太平洋上、から園院舞組

遞信省で試験進む

空中、別州・洋上へ延びて記憶す ここととなり順別的無端電話時代 が質集するわけである

明確のやうなほの行方は割らない めて泣き動けたましれ亡した事物 出作に関す去られたが見ば明を表

泊めて下さい 時器へ順る

景り 時曜 けぶの天氣

大吉里襲擊匪 奥地に追散らす

を一方里側を調べると、他季氏で 月削に生れた大男師節者が、帝 が同日間方針が出出けるで、気

(店にあり)

鳳 櫻

梨 桃

| 会開那にして眺め段し御希望者は | 国数八第、郷所明水 | 国数八第、郷所明水

東京

桃屋發賣

を指めて泣く愛見を一人残して家

大阪少女歌劇



は昨年返に死肌長女や脳ゴさんで、さうだくと謎の選言訳を所持して土産権自尊したものと報用、師人、いと歴におけれど誠い子供が可愛

京城工業入學

飲養血溫

世界的大流行の

ローラーカナリー

神鳥ニュース贈呈

《星雅》在发生》 町等大明市崎岡県町学 「崎県田福田第) 所「作製機箱「陽太 (番二九五二一届古名座中智麗

ソース本舗 發變元 戲越後屋

保管口座京城 | 五八三四番 | 中線府大和町 | 中線府大和町

傷本

平壤渠

牟

(冷蔵貯蔵)中無休

同給費生練習生

| | 京日泰内

告に限り特に変顕にて規数す。 設理料金は前納の車但就機版 阻五十銭匿名は一回毎に五十 面五十銭匿名は一回毎に五十

国 中の郷食業成構を強さいる。 中の郷食業成構を増えて明めている。 日本 体音の出た気管の出た支管を明している。 中の郷食業成構を増加している。 中の郷食業成構を加いる。 中の郷食業成構を加いる。 中の郷食業の一般をはいる。 中の郷食業の一般をはいる。 中の郷食業の一般をはいる。 中の郷食業の一般をはいる。 中の郷食業の一般を含まれている。 中の郷食業の できまれている。 中の郷食業の できまれている できまれている。 中の郷食業の できまれている できまないない できまれている できまれている できまれている できまれている できまれている できまれている できまない できまれている できまない できまれている できまない

特別等贝 小店員募集

高等小型校卒業者及ビ本年卒業見込ノ者十名(但内地人ニ歴ル)シスト権・大不赦・・市内ニ確質ナーマハ職業紹介所へ、市内ニ確質ナーマハ職業紹介所へ、市内ニ確質ナール保部人ニ名ヲリス 村木時計店人事係

杜 杷 、 西 洋 梨

フルーツサラダ

受驗生募集(歸納)

柑

京城研數學館

京城の道路二千萬坪を完成

時は天作町停む風が近年世に「實施されること、なったが、これ「内部住権内の設置総理性」子高が、これに関するようで、ナー年、地主側の発動や一所一個記になる。次級表するととになったが、これ「内部住権内の設置総理性」子高が、これに関する子が、これに関するでは、大部の発動や一般によった。 おおを願行する所所については逐時は天作町停む風が近に事故職 完献にもいよく〈市の風記里台が、○市に輝に教を練つてある。その「子九首七十個を制止して梁を立て」

なのでがつくり、不吉な強酸に打 歸つた父親が驚く

Peaches

MOMOYA BRANE

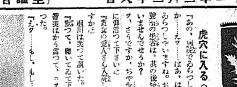
及特約店具工

本店所在地 吳市西本通一丁目 一年高文/日産一万本・經過保町 「一年高文/日産一万本・經過保町 一十年高文/日産一万本・經過保町 一十年高文/日産一万本・經過保町 「一年高文/日産一万本・經過保町 「一年高文/日産一万本・経過保町 「一年高文/日産一万本・経過保町 「一年高文/日産一万本・経過保町 「日本店所在地 吳市西本通一丁目

たれ能でて部間に一歩数込むと、「父親の身工船割があったのでえ の中は火の気が消えたでもに群かし、水めてゐたが、敷目削突然候 |夕仕研光から帰宅すると無外家||晦まして仕舞つた交談の行方を (版格外建華面方大興)さんが廿六 | (ご) は今から上三年面鑑器行 こには極しい弦の姿は消えて二一では交は吉州にゐたのかと飛ん 「行き十二甲版りに脚的製面をし 城へたどりついたが、無一文のた か都台しとうと一人とはく 州から京城まで歩いて廿七日悠 古州省より歌にも訪れた事のな

も大いに、一個の一個国家で的めて へ「ナみませんが一個間に編へ泊 め途方にくれ、止むなく東大門者 めて下さい。と表題した、同番が

●指間水虫・股間いんさん



観光の思治は、其の後壁りはこざ あらつしていますね ちや、小七 一貫女の愛人言ん人院してるので 一蹴つて、脆いてゐて下さい。』 虎穴に入る(三)

2、さらですか、ちゃ受待もの方。みはしないこと……今日は幸配し、きな心能に流が寒になつたんです …たケ……はあ、はあ場践で「かの御開選いちゃありませんから)がわからないので、野生がちだんの、頑臓でゐらつしやいます」(ほ、ほくは、野上一郎です。何 一向ふの電話はでは、覆美の芝居 今日はもう機能しなくてもい」さいのです。當つて下さい。どこから なくて まいもう いいので すつて ねゅうどこにゐるのです。 どこか 「えワ……えワ……病人の傷、膽 かりして下さい。 既女はあまり 智楽は喰き出しさらなのを、や「た踏んで、「死物」程ひの繋を出し (あつ、 理美さんですね。 脈みま すぐ行きます。 それまで共歯を動

うです。貴女はいまどこにゐるの つ出れ、今年なところにゐるわ。

て電磁口に唱んだ。智美はあわて



たわ。死んちまひ座いわ。あなた

は十七盟軍の係の方ですわね。十一金策は駄目よ。私は恋歌しちゃつ

今のところ經過は良好なんですつ で観彩の病人は其の後如何です|

お話しするわ。あなたは歌らかで く頼んでよっえラット くり御相談するわ。病人をよろし 待つてゝ下さいな。其の上でゆつ 一世したら降りますから、それまで つそのこと し、困つたわね。私れ、私ね、 ・え、躍りますとも、大丈夫・間

三十分性したら解りますわ。だか ら使つて下さいね。其の陪詳し

遠ひなんかしなくつてよ。では待一 つて、下さいね。直く配りますか

にも、お母様にも、あまり意氣地一の側に行つて「節子に 騒を おろす 一新人學兒童の愛らしい姿を想像し、と俗じます た。そして よろめ くやうに 相川 智美は電話を 切るとほつとし

の手だ、どうお考へでーーと問へ でした、金先生の仰せられた七二四五同様とは一寸今の誓合意外 言葉短かに腕は盤面に吸ひつ 門用してまざれを生ぜしめ深じる。 其の効果は時間だが敵の攻撃を

ざいますか、ちゃ今の脳大丈夫な

さいますのね、 はッ、 さうでご

お信がしいとこを御程歴して相評んですのね……さらですのね……

左香塔

公七段 ▲五段

部呂

和木

歌光

お願い気します。さとなら・・・・・」 つと電話口まで呼んで戯けないで

「私のリーべさん死にかかつてる 相用が心配さらに訊いた。 」ざいませうか はつ、どうそ

七既能の付添ひの方、ちよ

三局

闘は四五銀迄の局面

? 經過を見て明日父参記するので要はございませんでせらか、えり

二流争弱血

戰

(2)

夫治 もあるけれどそれは無理といふも 万ので収拾のつけ継い手でもう は いずでもう は ころは、二四手、もう…ころは、二四手、もう…… **但や私を一策であらう、こゝで三四五歩と角の捌きをつける必要に一番日本氏の三四級と引いたのは** 下手が赤裸の陣立 と笑いて甚の行動を認る 四歩、其の時間歩なら一四歩と突き進んだと 日本將棋聯盟會長

小元 (5分) ▼二二世成(8分) ▼同香成(3分)

步步金

これに對し諸民木氏は一一歩と 作戦の裏

「これは守勢に失する心配もあり

○ では、野上一郎が長は四五同級と疑問の一手を下してかの阻抗ロでは、野上一郎が長は四五同級と疑問の一手を下した。

觀

◇消費時間 R

睨み合ひ

本紙一萬號記念三千圖懸賞一等當選、簽層斷上演映圖 推翻 (105)ない、あの彫らかな、萬里子の數(同三時(五分・連位)を集 市 同九時(東) 昨事解設 「一日川の頭に、なんの苦労も知ら」 小學校長 岩島 11日 音 をする可能ない。 と、卓子の上にがつくりと倒れ込 作がすぐ思ひらかんだ。



寺亭

がなくて用端ないわら

廿八日番組 催日:

同六時五五分(東)カレントトピ

ニュース 天氣見込 職 午後七時三〇分 講演

毎門保校教授・協関體と敬郷と佛教

同六時 五分 心田開起講話 同六時二〇分(東)コドモの新聞

た。(智美さん。智美さん。しつ

高七時三〇分(東)朝の修養 午前七時一分(東)基礎過剰 同八時一〇分(甲)ラデオ謄操 都 言 同七時三〇分(東) 所唱

ら電話をかけてるのですか?僕が

同九時一五分 領象通報 料理献 つり 佐伯孝夫作詞 岡本啟明 選 山田村作り

同一一時四五分 人得減験合格者 午前七時三〇分(東)小鳥の希恩

廿九日き、物

午後零時五分(東)ジャー ・ (東) 時報 日用品値段 辞子供服の直し方・土留 許子 のスコアーブック 久松新作 同七時三六分(大)立権過談 僕

タイピストBと合頭

同二時三〇分 ラグビー試 同一時四五分(京)映版的 同一時一〇分(大)チェロ 哈前銭線路局長 佐原

は今迄歩いたけど駄目だつたわ!

脳歌するのだわね。とにかく金乗

「あなたどうしたの?」は国語が

メルマン作曲 ローイ・小願編 アルビ作曲 ローイ・小願編曲 テルビ作曲 ローイ・小願編曲 テルビ作曲 ローイ・小願編曲 母の時間・午後三時

がはなくちゃならない

……いえ 三十分

オリンピアノ「衝突曲」クロイ 同六時(現)ラヂオレヴュー 有大時(現) 翌四等。 ヴァイ・になら) 京城 同八時一分(宋) 翌四等。 ヴァイ・になら) 京城

小學校新入學兒童 京城南山小學校長 岩島 | 1111 七 ベートーヴニン作曲ファーソナタ イ長調作品 『品四十 日刊 日刊 第一同七時三〇分(東)ラチ

生後八時三〇分(大) 道化前

新っしい洋服や靴に身を置め、可ちた縮症物でせら、斯うした楽し 極性の安又された小學校の校門へ て下さい何と聞々とした希望に満 窓の騒を弾かして父母の手に引か るにつきまして敬称上の所見を二 い日も最早や数日の間近に迫りま その上お前は傍にゐる 柔らかな光甘いメロディー

午後零時五分

シヤズ

れながら最々と吸び込まれて行く、三申上げまして御藝等に供したい 歌草の光そのまゝにクルー()と歌。した。さてこの裏びの入學を迎へ 愛いランドセルを背質ひ、囃子の

、甘いメロデ

栾

私の質はなんて美しいんだらら

今がチャンスだダンスをしよ

柔らかな光甘いメロデイト

オカタンゴ

無理が生じ其處に思はぬ不利を招 き出しが先に利かなけれる株に此の場合としては四 **最金 易一郎** 三、ベルシの市場 わが胸に帯りそい、塵まどろか 思うつ風にも、思いは糖のその わが胸は踏るよ、かの君ゆえに、

は、楽しき他毎に幸あれ 鑑をまけ、祭しい歴生を活かよ ら、我々は際に船出するのだ。 夜間ける最後のピールを飲まう 四、錨を捲いて

つて五六にでも根す布陣の方。断の位は膨となってゐるのだ。 私はお削と夢の中で踊つた 五、夢のワルツ

放っないでくれ お前はこの影を本當にしないの **そしてやさしくささやいてくれ**

彼は見ゆる女をひきつける

二〇時 ニュース(笹山、函鮮 下、笹山) 一〇分(東)時報 ニュー アリベバの愛の伽羅りですぐ貴女 若し貴女が迷ったとしても を数ふだらう 何んな女でも彼の申し出は拒めた 彼の名は町内に知れ亘つてゐる 歌とロマンスの王都 アリベバ

故郷にかざる 銅鑼のたもと 經離のうずもの

築も富も 世に光ち足らむ いざや人と 力のかぎり **拒まずらまず 良きを研究めば** 業務に技工に 心魂をつくし 羅進む そのかいやき その光



鎧糸の歌 りや陽深に朗らかに

佛政 同六時 吹茶樂 教世軍育兒院 題ときらめき 花とも映えて

同九時五分 報念外 命 柳 览同八時二六分 古淡 啶 秋 岡同八時二六分 古淡 啶 秋 岡



(十一同)時一五分 滅後豪鴻部十二 午後零時五分 (東) ジャズ新聞 第一 放送

同四時 ニュース(気象通報・答 同九時三同三時四〇分(東)気象通報 帰問題(後近朝鮮器) 金. 狭 市 同九時へ

一、鰡糸まつり

國の質の趣絲の祭りアヨイトナ祭

阿本敏码作曲

常に迅速の様子であるが邁進から、傾約の神悪なる威厳と制趣、服従

獨選がラインラン へ飛び出した

れだけその容分には強い所がある

大 吉 鄉

ある。自分の領地内に兵を入れ武でありますが、私はそれに觸れな

玉はせるとラインは自分の領地で といよ帰属側からの籐籠が出るの ので最近の歌舞出はこうた誠し非と見ればなりませれ。そこに画際

を練り思想を作ることが何で悪い

いでロカルノ條約のことを一寸甲

でないかと主張するのである。そ 欧洲では平和條約、平和の主義、それは獨立の國家として常然の事 上げたい。ロカルノ條約といへげ

模範的頭痛

は祭える際は富む 動は國際型はふとって マイトサ村 ハアトントコトントコ朋らかに





大内山にいそしみ給る 息后の宮は大御手づから てもとしどし 豪型の技を その光・人の身てらず 費きは そのかなやき

息国をてらす 時事解說

網は織り出す世を思す ハアトントコトントコ世を照す 網は日本の暗れ衣裳 着ましょ者せましよ図産器をアラ

一一アトントコトントコ蘇耶 ハアトントコトントコ暗れ衣装 任きてくるくる統単 トナ

今日では形勢一種

申さるとそれらの性 の版本に描はつてゐるが大千三百萬で帰國の 至ったその理由には 帰國が却つてそれを

侵四月八大区四月八大区 四月八大区 10月八大区 10月八大区 10月八大区 10月八大区 10月八大区 **管星** 清水

羅掘

わさの

東游鬼月日

仁川出帆

九州郵船蘇出張所一個第一發展

品質と聲價に於て 地を抜く

果糖。 200 酒は 强素を含 鐵分 葡

糖

ブド 然

頭

他の 襚 から 故に し元氣を

增進 勞を慰 有する

康體 をつくる本 潑剌たる

滋

最

古最良

居ります

午後九時

最近の獨佛問題其他

九州郵船株式會社田 別 四 吉 山田帆